

施策分析シート（令和2年度）

No1

施策名	観光資源の発掘とにぎわいの創出	施策No	06-01	部課名	産業経済部観光振興課
				課長名	山下 内線 460

関連部課名	産業経済部観光振興課
-------	------------

行政評価事業体系	分野	III	産業革新都市
	政策	06	人が集う魅力あるまちの形成

目的	区内の各地域で培われてきた固有の歴史、伝統、文化、産業、下町の人情などの区の魅力を観光資源として活用するとともに、新たな観光資源の発掘に積極的に取り組む。また、集客力の高い魅力あるイベントの実施により、区内外からの誘客を促進し、にぎわいを創出する。
----	--

指	幸福実感指標名		指標の推移			指標に関する質問文		
			29年度	30年度	元年度			
	①	まちの魅力	2. 59	2. 68	2. 68	荒川区は区外から人が訪れたい魅力のあるまちだと思いますか？		
	②							
	③							
標	④							
		施策の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明
	29年度			30年度	元年度	2年度見込み	目標値(8年度)	
	①	観光イベント来場者数（千人）	116	89	69	2	146	川の手荒川まつり、シダレザクラ祭り、
	②							バラの市、伝統技術展、都電荒川線沿線スタンプラリー、
	③							産業展(29年度からモノづくり技あり市へ移行)
	④							※2年度は都電荒川線沿線スタンプラリーのみ開催見込みであり、
	⑤							他のイベントは中止

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目		30年度	元年度	差額	行政収入	勘定科目		30年度	元年度	差額
行政費用	行政費用	給与関係費	42,761	38,995	▲ 3,766	行政収入	地方税		0	0	0
		物件費	25,973	26,553	580		国庫支出金		7,775	0	▲ 7,775
		維持補修費	0	0	0		都支出金		3,047	2,011	▲ 1,036
		扶助費	0	0	0		分担金及び負担金		0	0	0
		補助費等	18,429	22,126	3,697		使用料及び手数料		0	0	0
		減価償却費	0	0	0		その他		0	0	0
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)		10,822	2,011	▲ 8,811
		賞与・退職給与引当金繰入額	2,307	3,068	761		行政収支差額(a)-(b)=(c)		▲ 78,648	▲ 88,731	▲ 10,083
		その他行政費用	0	0	0		金融収支差額(d)		0	0	0
		行政費用合計(b)	89,470	90,742	1,272		通常収支差額(c)+(d)=(e)		▲ 78,648	▲ 88,731	▲ 10,083
特別費用	特別費用	特別費用(g)	0	0	0	特別収入	特別収入(f)		0	0	0
		特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0		当期収支差額(e)+(h)		▲ 78,648	▲ 88,731	▲ 10,083

貸借対照表	勘定科目		30年度	元年度	差額	流動負債	勘定科目		30年度	元年度	差額
流動資産	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	還付未済金		2,065	2,066	1
		不納欠損引当金	0	0	0		特別区債		0	0	0
		その他の流動資産	0	0	0		賞与引当金		2,065	2,066	1
		有形固定資産	0	0	0		その他の流動負債		0	0	0
		土地	0	0	0		固定負債		7,037	7,062	25
		建物	0	0	0		特別区債		0	0	0
		建物減価償却累計額	0	0	0		退職給与引当金		7,037	7,062	25
		工作物等	0	0	0		その他の固定負債		0	0	0
		工作物等減価償却累計額	0	0	0		負債の部合計		9,102	9,128	26
		無形固定資産	0	0	0		正味財産		▲ 794	▲ 820	▲ 26
固定資産	固定資産	建設仮勘定	0	0	0	正味財産	正味財産の部合計		▲ 794	▲ 820	▲ 26
		その他の固定資産	8,308	8,308	0		負債及び正味財産の部合計		8,308	8,308	0
		資産の部合計	8,308	8,308	0						

財務諸表に関する特徴的事項等

○行政費用において物件費や補助費等の割合が高くなっている。
○補助費等は前年度と比較すると2割程度増加しているが、これは観光イベント支援事業をはじめとした観光振興事業の中で、区民や地域団体が実施するイベント等に対し、積極的に支援を行ったことによるものである。
○行政収入において国庫支出金が皆減しているが、これは30年度に川の手荒川まつりに対する地方創生推進交付金が活用できたためである。
○行政収入における都支出金は、主に産業観光推進事業で活用した東京都の補助金である。

施策の現状・課題・今後の方向性

現状	○区内ににぎわいを創出するため、あらかわ遊園や都電とバラ、モノづくり、隅田川の水辺空間、俳句のまちあらかわなどの地域資源を新たな観光資源として効果的に活用しているほか、各地域団体とも連携し、質、量ともに拡大を図りながら、様々な観光イベントを開催している。 ○新型コロナウイルスの感染拡大により、観光目的の入国は制限されており、外国人旅行者は激減している。
課題	○今後、区内への更なる誘客の促進を図るためには、新たな観光資源となるような「場所」、「もの」等の発掘・育成と併せて、魅力的なイベント等を実施していく必要がある。 ○さらには、区が主体となった観光振興に加え、区民や区内事業者の観光に対する自主的な取組意欲を高めるとともに、他の自治体との広域的な連携を進め、観光振興を図ることが求められる。 ○新型コロナウイルス感染症を踏まえ、観光振興事業の見直しを行う必要がある。
今後の方向性	○荒川区の歴史、伝統、文化遺産やあらかわ遊園、都電とバラ、モノづくりといった既存の観光資源の更なる活用に加え、新たな観光資源の発掘に積極的に取り組む。 ○区にゆかりのある武将である太田道灌など新たな観光資源として発掘したものを「荒川ブランド」として育成し、観光資源の魅力向上とにぎわい創出による産業振興を図る。 ○区を訪れる機会を増やすため、地域資源を活用した魅力ある観光イベントの充実に努めるとともに、区内事業者等による観光客誘客のための取組を積極的に支援する。 ○観光資源の活用、観光イベントの実施にあたっては、近隣区とも連携し、相乗効果を高めるとともに、特別区全国連携プロジェクト等も活用し、訪れる機会の更なる拡大を図る。 ○3密を避けたイベントの開催の他、非集合型の事業を企画・検討していく。

施策の分類		分類についての説明・意見等
2年度	3年度	
重点的に推進	推進	新たな観光資源の発掘に取り組むとともに、集客力の高い魅力あるイベントの実施や支援を行うことにより、区内外からの誘客を促進し、地域経済・産業の活性化を図ることが期待できることから、当該施策を推進する。

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業 No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のた めの分類		分類についての説明・意見等
		30年度	元年度	30年度	元年度	2年度	3年度	
産業観光推進事業	06-04-03	12,657	11,216	4,362	4,282	推進	推進	モノづくりのまちあらかわを区内外に向け広く周知するため、モノづくり見学・体験スポットの拡大とPRの充実を推進する。
観光イベント支援事業	06-04-04	34,049	37,872	21,087	23,469	推進	推進	区民・事業者の自主的活動は、観光振興による地域の活性化を図る上で欠かせないものであることから、今後も関係団体等に対する支援を推進する。
都電荒川線活用事業	06-04-06	3,239	3,334	128	133	継続	継続	沿線3区及び東京都交通局等と連携のうえ、荒川区の観光資源を活用し、都電荒川線沿線地域全体の活性化を図るため、取組みを継続していく。
水辺空間活用事業	06-04-08	10,691	6,322	4,470	2,588	継続	休止・完了	隅田川ルネサンス推進協議会が、民間主導の水辺空間活用の機運の高まりを理由に平成30年度末に活動を終了した。区においても、民間事業の支援を充実させるため、本事業を完了する。
俳句活用事業	06-04-09	19,464	19,303	12,205	14,501	重点的に推進	推進	区外からの誘客を促進し、地域の活性化を図るため、「俳句のまちあらかわ」及び「奥の細道矢立初めの地あらかわ」を活用した観光振興事業を推進する。
あらかわの伝統野菜PR事業	06-04-10	1,855	2,417	300	284	継続	継続	三河島菜の認知度を高め、区民の郷土愛の醸成や区の魅力向上を図るため、今後もこれまでの取組を継続していく。
太田道灌魅力発信事業	06-04-11	7,514	10,280	2,330	3,879	推進	推進	荒川区と太田道灌のつながりの認知度を高め、区民の郷土愛の醸成や区の魅力向上を図るため、取組を推進する。
合 計		89,469	90,744	44,882	49,136			